生協活動者は何を語ったか

三池生協組の運動が発展するにつれ、優れた活動家がふえてきました。本紙は七月十七日、これらの活動家に集まっていただき、活動の経験と意見を出し合い、交流をもつことができました。尊い実践をふまえての言葉の一つ一つから、貴重な教訓をひき出すことができると思います。次に、その抜すいを紹介いたします。

交流した人びと（敬称略）

柳本　覚（宮浦・上宮）
大西　勉（三川・高取）
井手　正光（本部執行委員）
岩谷ふみ子（主婦・緑ケ丘楓町）
池田　住雄（港務・新港町）
椎葉　末子（主婦・方田通万）
（以上発言順）
司会　宮本　文男（本部執行委員）

〝人間性〟をこそ売ろう

信頼得ずに生協運動なし

宮本　三池生協は、もとはといえば、CO闘争の一つの測面の形をとってスタートしたことはご承知の通りです。事実また三池生協と名のつく以上、その測面をになっていることに、今後もかわりはありませんが、それと同時に、これからは「命と暮らしを守る闘い」につながる消費者の運動として、より本来的な目的追及のために積極的に活動する――、いまその時点に立つまでにいたっているわけです。その意味から、今日は生協運動の本来的な活動の充実・発展のために、常づねとくに働いていただいている皆さんに話し合っていただき、それをみんなのものにして行く。このように考えているんですが。

狂乱物価に追われて生協へ

柳本　昨年来の狂乱物価のなかで、私は初めて生協のことを考えついたんです。普通の事態のなかでは、恐らく考えもしなかったでしょう。つまりわが国の急激な物価値上がりによって生協運動のなかへ追いこまれた形でした。

ほんとうなら、この運動を、自分たちの生活のなかでとらえ、それによって生協をささえて行く――、その点をもっと考えんならいかんなー、と思います。

大西　あの物価狂乱という情勢のなかで、生協がとりあつかえる物資がもっとあったら、組合員の生協運動に対する認識も、もっとかわっていたでしょうが、大資本から運動を抑圧されている生協では、それができなかった。

いまから考えますと、もっと別な角度から、生協運動を見るべきだと思いますね。

生協の運動方針にあるように、コープ商品が一般のそれとまったく違い、味噌ひとつとっても防腐剤が使われていず、着色剤ものぞかれている。まさしく、無公害商品を取りあつかっている事実。これを見ることですね。

食わされるのは毒物ばかり

宮本　たとえば醤油ひとつつくるにも、とくに日本生協がフンドーキン（九州では一流メーカー）に頼んで、防腐剤も着色剤もいれずに製造させているものです。一般の商品を利用している人たちは、日常茶飯時に毒物を食いつづけているわけですよ。アメリカでは、水銀で殺菌したタネモミを食わされて、四百六十九人もの人間が死んだ例さえあります。

わが国でもカネミオイル、森永ヒ素ミルクなどの事件が起こりました。社会主義の国々では、つくられる食品は無公害のものですが。

何しろ私たちの資本主義の国では、生産手段を資本家がにぎっていますから。パニックともなれば、コープ商品の製造を独占が圧迫してきて、生協運動の邪魔をする。結局、生協運動でコープ商品の需要を拡大することで、独占を屈服してゆく以外にテはありませんね。

井手　九州で開かれた生協大会にでておどろいたことは、その運動がものすごく発展していることですよ。生協運動をやっている主婦の皆さん方が、狂乱物価反対で直接街頭へでている。そして、自からの手で、酒類から米穀までも生協で取りあつかっている。

大西　一般商品のために、奇型児でも生れるとみんなの目もよりにしてくれる人がふえてきました。私たちも、「タオルケットと毛布ならまたんね」というんです。その人たちも、「生協のな品ら……」と、よろこんで買ってくれます。

醤油の注文があったときなんかがこまります。お酒の注文を受けたときは、うちの子どもが配達してくれていますけど。

コープ商品を積んでかけまわる配送車

がんばれと励まされて活動

池田　私はもう、三池生協発足の初めのときから、自分にできるものなら……と、生協運動をやっています。

なるほど、初めはまわりの人たちに果たして売れるだろうか、と不安でならなかったですが、また買ってくださる人も、はじめは、こっちがよっぽどもうけているだろう、とばかり思いこんでいたくらいで、そうじゃないんだ、CO闘争のためだ、といくら説明しても、「いまの世のなかで、もうけずに売る者がどこにいるもんか」。わかってもらいますと、「それじゃ、がんばってください」と、牛乳や酒なんかふるまわれるんですよ。いま私が結論としてもっている考えは、生協運動というものは、人間性を売ることだ、ということで、この基礎をうしなっては生協運動はないですよ。

おかげで私は、配達のため、自転車一台パーにしましたが。

大西　注文からとってまわっているんですか。

池田　ハイ。ボールペン一本でも。雨が降ろうが風が吹こうが、ちゃんと約束の日にはとどけます。

おかげで、かあちゃんも子どもも、いい顔でいてくれるのでできるんですけど。

柳本　私は今日、生協の運動のほんとうのあり方を知りました。自分が品ものがほしかったけん、ということで生協を利用してきた私の場合と、ずいぶんの違いです。これは考えるべきですね。

大西　いや、そこがやっぱり運動の発展の土台ですよ。

新労組の人たちもお客さん

椎葉　岩谷さんといっしょに運動していますけど、いちいちお金を集めて。自分の住んでいる社宅外の、三池新労組の人たちにも呼びかけて買ってもらっている、お客さんです。

柳本　そんなに、皆さんの力で生協運動が広がっている事実をいままで知りませんでした。自分の家で要るものを買えばよかやっか……、みんなそのくらいの考えじゃないですかね。

宮本　そこからはじまるのですから。

大西　うちでは、かあちゃんが勧めている病院で広げているんですよ。看護婦さんたちを、フトン屋につれていったり。

柳本　それにつけても、生協の商品の優れている点を、もっと積極的に宣伝する必要がありますね。

池田　ただ、売り上げをふやすことを考えることよりも、あくまで信頼を得ることの方が先決ですよ。

岩谷　ほんと。たとえば集金してまわるときさえ、話し合いのチャンスとなりますし、選挙の話もできるのです。事実集金活動を通して、私は先の参議院選挙に、新労組関係の人からもずい分協力していただきました。それにしても、コープ商品は市販されていませんし、何が何やらわからないでしょう。ですから……。

宮本　自然、足がスーパーに向いてしまう。

椎葉　品ものがこんなに違う。そして価格もこれほど安い、とまわりによく説明していただくことですね。もう私のまわりの人は、「タオルケットはあんたにたのむけん、生協組のでよかないね」と、だいたいきめています。使って見て、わかってくれているんですね。なかには「そげん安かなら、もう一枚もろとこう」と、いってくれる人もいます。

地域住民もまきこもう

柳本　地域住民の間にも、広げることを考えるべきですね。

岩谷　たとえば、展示会を開いていただくとか。

大西　生協のビラもほしいな。

岩谷　ただ、品ものを展示会で買ってもらうのはよいのですけど、名前はわかっていても、どこの職場の人かわからない例も少くありませんし、集金するのが大変です。

椎葉　岩谷さんと二人で、集金にとびまわっていますけど、職場の記入もれがあったり…。

宮本　今後は、それらの点を十分ご相談してやって行くことにしたいと思います。ごめいわくかけましたね。

柳本　今日は、ほんとうに考えさせられました。生協運動は、いっそう発展させていかなければなりませんね。みんなももっと認識を高めて行かなければ……。

宮本　どうもありがとうございました。今日みなさんで話し合っていただきました内容を、みんなのものにすることによって、生協本来の運動を発展させていきたいと思います。これからもぜひがんばってください。

一同（努力することを固く誓い合って終る）

無茶な閉山押しつけ

朝日労組反対闘争へ

朝日炭鉱の従業員数は約三百人（うち百人が組夫）。

同炭鉱の労働組合は去る春闘の際、一方千四百円（月三万五千円）の賃上げを要求、数回もストライキをうって闘った。二十年ぶりのことだという。

これに対して会社側は、一方八百六十七円（月二万千六百七十五円）の回答を押しつけてきた。

そのうえ、「六月三十日付で閉山し、全員解雇する」と、思いもよらぬ閉山通告をつきつけてきた。六月十八日のことだった。

組合はもちろん、閉山反対。闘いをつづけてきたが、会社側はいまにいたるも閉山態度をかえてはいない。

もともと同鉱の賃金はきわめて安く、昨年の実績から、坑内労働者の平均賃金が、残業や諸手当をいれてさえ八万九千六百五十円。ほかの炭鉱に比べると、はるかに低くおさえられている。

反対に会社の方はどうか、といえば、野村会長は、昨年の長者番付で、全国十三位と大所得者。それからすれば、賃金回答といい、こんどの閉山呼ばわりといい、無茶な話である。

朝日労組の「閉山反対闘争」は絶対に勝たせなければならない。

【豆ニュース】

ポスト参院選、三木、福田辞任問題でゴー。野党の政権構想が現実味を帯びる。

×　×

人心を札びらでたたく悪徳選挙糸山派の検挙相つぐ。底知れぬ資金源に疑惑。

×　×　×

十四日の繰りのべ選挙で、参院全国区当選者確定。一票の重みをしみじみと感じる。